

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2013年9月25日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 広がる！ 生活困窮・劣悪な労働

### 「雇用とくらしのSOS」街頭相談会 44名から57件の相談

9月24日、札幌駅前通地下歩行空間で、「雇用とくらしのSOS」街頭相談会が行われました（「雇用・くらし・SOSネットワーク北海道」主催）。

相談者は44名、年齢も22歳から81歳と幅広く、相談内容は生活相談19件、労働相談11件、法律相談14件など57件でした。生活がますます大変になっていることやブラック企業など雇用・労働環境が悪化していることなどが反映しています。また、相続問題など高齢社会を反映した相談もありました。今回は、ブラック企業撃退法や「生活保護を利用するには」など「雇用とくらしに役立つ学習会」も行い、好評でした。



#### 相談事例 ネットカフェで生活・医療費払えない・家賃は払えず引越したい

生活相談は、年齢を問わず多く、年内に生活保護の申請を準備する方も数件いました。また生活保護利用者からの相談もありました。労働相談も合わせて、相談事例をいくつか紹介します。

■男性・49歳 「ネットカフェ生活。所持金1万4千円。福岡出身、大阪で面接し北海道で農作業に着いたが旅費や生活補助金は賃金から引かれた。低賃金で寮費など引かれ生活できず退職した」



■男性・55歳 「3年前失業、ハローワークで求職するも高齢で見つからず生活保護利用。3ヵ月程度求職報告しなかったため、指示どおり求職しないと廃止に。廃止後、国保未加入、家賃滞納、電気代は9/26以降停止の通知」

■男性・65歳 「市役所で生活相談してきた（現在所持金15万円）が、『所持金0円になったら来てください』『家賃4.5万円のところに住んでいると伝えると高いですね』と言われた」

■女性・63歳 「家賃（月5万円）が高いので移りたい。生活大変。夫、娘と3人暮らし。本人の年金月2.2千円、夫の年金月6.3万円+0.9万円、娘は年30万円も収入（年3ヵ月）」

■女性・73歳 「一人暮らしで月44000円。病院に行きたいけど、お金がないので行けないでいる」

時給は最低賃金、最賃上がるたびに交通費が減額。会社に言うと契約更新されないかもしれない

■女性 「時給は最低賃金。最低賃金上がるたびに、交通費が減額される。5000円しかでない。会社に意見をいうと、来年度契約更新されないかもしれないと心配（1年間契約）」

### 好評だった 「雇用とくらしに役立つ学習会」・「役に立つ制度紹介パネル」



◇「ブラック企業撃退法」は道労連の吉根清三さんが講演（中写真）。企業が総ブラック企業化している、解決のために一人でも労働組合に加入することなど紹介、**制度改善の必要**も指摘しました。

◇「生活保護を利用するには」は道労連の細川久美子さんが講演（左写真）。生活保護の基本や改善の動き、持ち家、車所有でも申請可能なども紹介。

制度を利用して、**制度の改善**もさせましようと言いました。いずれも好評で立ち見もできました。

27日（金） 東区社保協が「無料なんでも相談会」  
（13:00～16:00 日の丸会館 札幌東区北41条東14丁目3-1）

29日（日） 道労連が 「ユニオンフェア」 トーク&ライブ&相談会  
（11:00～17:00 チカホ・北大通交差点広場【ピッセ横】）